令和3年漁期の季節ハタハタ漁況予報について

秋田県水産振興センター

1. 季節ハタハタ(沿岸)初漁日推定

(1) 成熟度(生殖腺指数)の推移

雌の生殖腺指数 (卵巣重量/内臓除去重量×100) が 20 に達した日と初漁日 (初セリが行われた日) との間には正の相関があり、この指数が 20 に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。本年は、生殖腺指数が 20 に達した日を 10 月 18 日と推定した。(図 1 \blacksquare)

(2) 初漁日の推定

本年の生殖腺指数が20に達した日を、昨年までの生殖腺指数と初漁日との間の回帰式に当てはめ、令和3年漁期の季節ハタハタの初漁日を11月28日(±3日)と推定した。(図2●)

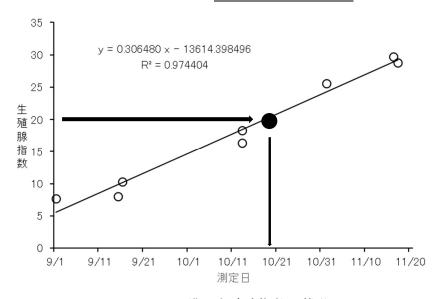


図1. 雌の生殖腺指数の推移

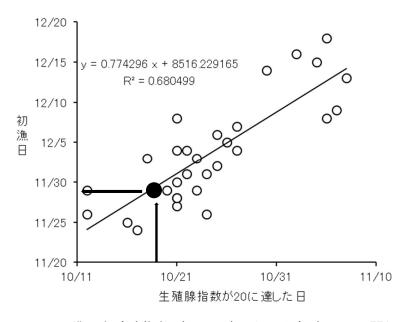


図2. 雌の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

表 1. 雌の生殖腺指数が 20 に達した日と初漁日との関係

年		初漁日	生殖腺指数が 20に達した日	予測された初	予測された初漁日		
——— 平成	3年	12月15日	11月4日	12月12日 ±	=	4	日
	4年	12月16日	11月2日	12月12日 =	=	3	日
	5年	12月13日	11月7日	12月17日 🖰	=	3	日
	6年	12月18日	11月5日	12月15日 世	=	3	日
	7年	12月8日	10月21日	12月6日 🖰	=	3	日
	8年	12月9日	11月6日	12月14日 🖰	=	3	日
	9年	12月4日	10月27日	12月6日 🖽	=	5	日
	10年	12月7日	10月27日	12月6日 ±	=	4	日
	11年	12月14日	10月30日	12月9日 🛨	=	4	日
	12年	12月8日	11月5日	12月16日 🛨	=	5	日
	13年	12月5日	10月26日	12月4日 🖰	=	5	日
	14年	11月28日	10月21日	12月5日 🖰	=	3	日
	15年	11月27日	10月21日	12月1日 🖰	=	2	日
	16年	11月29日	10月23日	12月3日 🛨	=	2	日
	17年	12月1日	10月22日	11月30日 🖰	=	2	日
	18年	12月4日	10月21日	12月1日 🖰	=	3	日
	19年	11月26日	10月24日	12月3日 🛨	=	3	日
	20年	11月25日	10月16日	11月26日 🛨	=	3	日
	21年	11月24日	10月17日	11月27日 🛨	=	3	日
	22年	12月1日	10月24日	12月2日 🛨	=	4	日
	23年	12月2日	10月25日	12月3日 🛨	=	4	日
	24年	11月30日	10月21日	11月29日 🛨	=	3	日
	25年	11月28日	10月21日	11月29日 🛨	=	3	日
	26年	12月3日	10月18日	11月27日 🛨	=	3	日
	27年	11月29日	10月20日	11月29日 🛨	=	3	日
	28年	11月29日	10月12日	11月23日 🖰	=	3	日
	29年	12月4日	10月22日	12月1日 =	=	3	日
	30年	12月3日	10月23日	12月2日 🛨	=	3	日
令和	元年	11月26日	10月12日	11月24日 🖠	=	3	日
	2年	12月6日	10月25日	12月3日 🛨	= ;	3	日
-	3年		10月18日	11月28日 🛨	= ;	3	日
	平年値 (30年平均)	12月3日	10月24日	12月4日			

網掛けは禁漁期間中のモニタリング調査結果

2. 水温

男鹿沖の底びき網漁場における11月上旬の水温の評価は、水深100mでは、「やや低い」だったものの、表層、水深50m、300mでは「やや高い」であった。(表2)

年 50m 100m 200m 300m 観測点 0m 平成 3年 18.3 18.8 16.7 5.4 1.5 入道崎沖 4年 入道崎沖 17.7 17.9 15.2 4.6 1.4 5年 入道崎沖 18.4 18.1 16.0 7.2 1.6 6年 19.3 17.7 13.8 5.4 1.4 入道崎沖 7年 19.8 19.6 14.8 5.5 1.3 入道崎沖 8年 18.5 17.8 14.4 5.3 1.7 入道崎沖 9年 18.3 入道崎沖 18.4 17.3 6.2 1.7 10年 19.5 19.4 17.1 4.3 1.3 入道崎沖 11年 18.7 19.2 18.0 5.0 1.4 入道崎沖 12年 20.4 14.1 1.2 20.2 3.1 入道崎沖 13年 17.9 18.6 13.2 4.4 1.1 入道崎沖 14年 入道崎沖 18.0 18.7 17.4 8.3 1.7 15年 17.8 19.3 19.2 5.9 1.7 入道崎沖 16年 18.3 4.1 18.8 11.5 1.3 入道崎沖 17年 19.0 20.3 15.2 5.1 1.5 入道崎沖 18年 19.0 18.3 14.6 4.2 1.3 入道崎沖 19年 19.4 15.3 入道崎沖 20.1 3.4 1.5 20年 19.8 20.5 15.2 5.9 1.6 入道崎沖 21年 18.3 18.2 15.6 5.3 1.6 入道崎沖 22年 18.1 18.3 13.7 5.0 1.3 入道崎沖 23年 19.4 19.8 15.4 6.3 1.4 入道崎沖 2 4 年 17.4 18.6 16.4 7.5 2.1 入道崎沖 25年 19.7 18.7 12.8 3.2 1.4 入道崎沖 26年 18.4 18.2 15.0 5.5 1.5 入道崎沖 27年 18.6 16.2 5.1 1.5 入道崎沖 18.6 28年 16.6 16.3 15.5 5.2 1.4 船川沖 29年 18.6 15.8 11.5 2.3 1.4 入道崎沖 30年 偏差の評価区分 20.7 20.8 14.5 4.0 1.4 入道崎沖 [100×(水温-平年値)/標準偏差] 戸賀沖 元年 18.7 18.6 16.0 5.6 1.4 +200以上・・・・・はなはだ高い 2年 17.9 18.1 18.0 6.5 1.7 戸賀沖 +131~200・・・・かなり高い 平年值 +61~130……やや高い 18.7 15.3 18.7 5.2 1.5 ±60以下……平年並み (30年平均) -61~130……やや低い 19.6 19.5 13.6 戸賀沖 令和 -131~200…かなり低い 97 -95 113 偏差 -200以下……はなはだ低い

表2. 観測点での11月上旬の水温

3. 季節ハタハタ初漁日についての補足説明

11月18日に仙台管区気象台が発表した1か月予報では、東北地方の12月中旬までの平均気温は「高い確率60%」であり、今後、静穏な天候が続いた場合、接岸が遅れる可能性がある。また、11月20日現在、沖合(底びき網漁場)では、まとまった漁場が形成されていないことからも、沿岸へのまとまった量の接岸は12月中旬以降にずれ込む可能性がある。

4. 体長組成

中型(2歳魚)が主体と推定される。